

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	ゆうき図書館		
	係名	企画管理係・サービス係		
	記入者		電話(内線)	34-0150

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	図書等整備事業		(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	主要事業			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	42203	(総合計画掲載ページ)	120		会計区分	一般会計
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				財源区分	市単独
基本施策	4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・青少年の健全育成)				予算科目	款 10 項 5 目 5
施策	②地域教育体制の充実				予算書上の 事業名称	図書等整備事業費
施策内容	3図書館サービスの充実					(予算書 175 ページに掲載)
(5) 事業期間	開始	16 年 5 月から	(8) 事務分類			
	終了	年 月まで (力年)				
			根拠法令	自治事務		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
図書館利用者及び市民	図書館利用者及び市民の教養・知識が向上し、文化的な潤いのある生活ができるようになる。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・図書資料・視聴覚資料・逐次刊行物の収集・整備 図書資料購入数・・・7,832冊, AV資料購入数・・・109点 図書扱い雑誌購入数・・・592冊 ・資料提供(資料の閲覧提供・資料の貸し出し) 図書資料貸出冊数・・・179,831冊 ・情報提供(ホームページによる利用案内, 検索サービス等) ・新規購入及び寄贈図書の整備(ICタグの貼付等) ・雑誌の製本化 ・レファレンスサービス・・・583件	市民の要望や図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境, 市民ニーズ等)や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応	
現在の公共図書館を取り巻く環境としては、「少子高齢化の進展」「経済・雇用情勢の変化」「高度情報化社会の進展」等の社会情勢の変化により, 新たな視点に基づく役割やサービスが求められているが, ゆうき図書館としても今までの本の貸出サービスに加え, 市民が求める情報をより的確に提供できるためのレファレンスサービスの強化を重点的に対応していく。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費	需用費		3,843 3,856							
		委託料		5,077 2,074							
		備品購入費		22,000 20,214							
	合計		30,920 26,144								
	財源	国庫支出金 (千円)									
		県支出金 (千円)									
		地方債 (千円)									
		その他特定財源 (千円)									
		一般財源 (千円)		30,920 26,144							
		合計 (千円)		30,920 26,144							
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	蔵書の充実	目標値	点		260,000	270,000	280,000	290,000	
		実績(見込)値		251,023	260,000				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	年間貸出資料数	目標値	点		182,000	184,000	186,000	188,000	
		実績(見込)値		179,831	182,000				
		達成率		95.7 %	96.8 %				
	来館者数	目標値	人		181,000	185,000	188,000	192,000	
		実績(見込)値		177,477	181,000				
		達成率		92.4 %	94.3 %				
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 利用率の低かった雑誌の製本化を、平成27年度をもって廃止した。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	図書館は地域の教育的・文化的基盤であり、必要である。					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	指定管理者制度の導入を検討する必要があるため。					
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	実施主体の見直しに伴い、手段についても検討する必要がある。					
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	職員に代わり、多くの嘱託・臨時職員を雇用しており、人件費の改善の余地はない。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	利用者に制限を設けておらず、偏りは見られない。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	蔵書数は増加したが、貸出者数や貸出冊数及び来館者数は横這い状態となっているため、どちらとも言えない。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	地域の教育的・文化的基盤として機能している。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 図書館サービスの成果としては、いかにして貸出冊数を増加させるかが重要視されているが、ゆうき図書館においては、ここ数年間の平均値をみると、蔵書数は年々増加しているが、貸出冊数については、ほぼ横這い状態となっている。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ 子供向けのサービスはもとより、すべての世代に対応できるような魅力あるサービスの構築を心がけていく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			これまで同様、貸出冊数や来館者数、登録者数の増加を目指すとともに、公共図書館として、常に地域の現状を把握することに努め、行政の施策を理解し、行政課題の解決のため、選書やイベント等の開催に反映していく。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				